

本年の初期生育は、降雪量が少なく高温で経過しているため、平年より5~7日早くなる見込みです。ナシ類の開花始めは、4/15頃と予想されます。つきましては、各園地の状況を確認して薬剤散布や摘蕾・摘花等の管理は極早めに進めてください。併せて結実確保のため、南水等の人工受粉は適期に必ず実施してください（開花期から3日目までが受粉能力が高い）。

- ✚ 本年も凍霜害が心配されますので、3/16配布の「凍霜害対策特報」を参考に対策を講じて下さい。
- ✚ 南水人工受粉用花粉（純花粉）の受け渡しは本年より営農資材店での受け渡しとなります。

◆ 和梨の定期防除

年度別の南水開花始め状況（調査地点：田麦沖）

| 年度 | 平年 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|-----|------|------|------|------|-------|
| 開花日 | 4/22 | 4/25 | 4/13 | 4/21 | 4/15頃 |



和梨 発芽7日後の散布（りん片脱落直前）

| | | |
|-------|---|------------------------|
| 散布時期 | りん片脱落直前（4/7頃） | ◆ 散布日：4月 日 |
| 散布薬剤 | 水 100 ^{リットル} IC ボルドー48Q 3.3kg（開花前、-） | ◆ 散布量： ^{リットル} |
| 対象病虫害 | 黒星病 | |
| 散布量 | 300 ^{リットル} | |
| 注意事項 | ① 収穫中の作物への飛散に充分注意する。 ② 散布時期が遅れた場合や散布直後に降雨があると薬害を生じる事があるので注意する。 | |

開花期の薬剤散布（南水等が1~2分咲いた頃）

| | | |
|-------|--|------------------------|
| 散布時期 | 4/15~20頃 ※生育状況をよく確認下さい。 | ◆ 散布日：4月 日 |
| 散布薬剤 | 水 100 ^{リットル} 展着剤（ハイテンパワー） 10ml サムコルフロアブル10 20ml（前日、3回） トレノックスフロアブル 200ml（30日前、5回） オンリーワンフロアブル 50ml（前日、3回） | ◆ 散布量： ^{リットル} |
| 対象病虫害 | 黒斑病、黒星病、赤星病、ハマキムシ類、ケムシ類 | |
| 散布量 | 10a 当り 350 ^{リットル} | |
| 注意事項 | ① 訪花昆虫保護のため使用薬剤を厳守する。 ② 収穫前や収穫中の作物への飛散に注意する。 | |

【南水開花前講習会】の開催について

| 開催日時 | 集合場所 | 開催園地 |
|----------------------|----------------------------|---------|
| 4月11日（火） 午前11時00分 | 南部共選所 | 小根澤庄一様園 |
| 4月11日（火） 午後1時30分 | R&C ながの中野支社 （旧長印中野） 駐車場 | 高橋真一郎様園 |

※人工授粉・芽すぐり（花芽整理）のポイントは裏面（4月の重点作業）をご覧ください。

西洋梨防除については、次ページをご覧ください

◆ 西洋梨の定期防除



年度別ラフランスの開花始め状況（田麦沖）

| 年 度 | 平年 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|-----|------|------|------|------|-------|
| 開花日 | 4/23 | 4/26 | 4/13 | 4/23 | 4/16頃 |

◆ 散布日：4月 日

◆ 散布量： リットル

開花期の薬剤散布（ラ・フランス等が1～2分咲いた頃）

| | | | | | |
|-------|---|--------------|--|--|--|
| 散布時期 | 4/15～20頃（目安となりますので各園の生育状況をよく確認してください） | | | | |
| 散布薬剤 | 水 | 1000 当り | | | |
| | 展着剤（ハイテンパワー） | 10 ml | | | |
| | サムコルフロアブル10 | 20 ml（前日、3回） | | | |
| | トップジンM水和剤 | 100 g（前日、6回） | | | |
| 対象病害虫 | 腐らん病、輪紋病、ケムシ類、ハマキムシ類 | | | | |
| 散布量 | 10アール当り：300 リットル | | | | |
| 注意事項 | ① 訪花昆虫保護のため使用薬剤を厳守する。 ② 収穫前や収穫中の作物への飛散に注意する。 ③ 赤星病対策 ：オンリーワンフロアブル2,000倍（前日、3回）を加用する。 | | | | |

南水の人工授粉・芽すぐり（花芽整理）のポイント

- ① 1短果枝当たり1～2芽を残す。結果枝（側枝）の片側15cm間隔で、横向きか斜め上向きの短果枝群を残し、上芽と下芽は基本的には切除する。
- ② 上向きの短果枝は日焼け果・収穫前落果の原因になるので切除する。...
- ③ 横向き、斜め上向き花芽を中心に最終的に着果させたい方向の花芽を残す。多少果台が細く、花芽もやや貧弱でも構いません。
- ④ 南水は、開花から3日目までが授粉能力が高い品種であるため、開花を確認したらできるだけ早い段階で作業を進める。

凍霜害対策講習会開催について

下記により凍霜害対策講習会を開催しますので、皆様のご参加をお願いします。

| 開 催 日 | 集合時間 | 集合場所 | 対象者 | 内 容 |
|--------------|--------|------------------|------|-----------------------|
| 4月5日 (水) | 11時00分 | 南部共選所 (駐車場) | 全部会員 | ① 燃焼法の実演 ② 散布資材の紹介 |
| | 13時30分 | ぶどうセンター (東棟前) | | |
| 4月17日 (月) | 11時00分 | 南部共選所 (駐車場) | | |
| | 13時30分 | ぶどうセンター (東棟前) | | |

【農業用無人車（農薬散布機）実演について】

4月20日（木）午後1時～ 営農センター裏ぶどう圃場にて開催